

水をつくる・水を届ける ～水道局の仕事～

- 蛇口(じゃぐち)をひねれば、いつでも好きなだけ使うことができる水。
- もし水道がなければ、私たちの生活はとても不便(ふべん)なものになるでしょう。
- 水道局は、みんながいつでも安心して水道が使えるように、安全な水を送っています。
- そのために24時間休みなく仕事をしています。



水をつくる



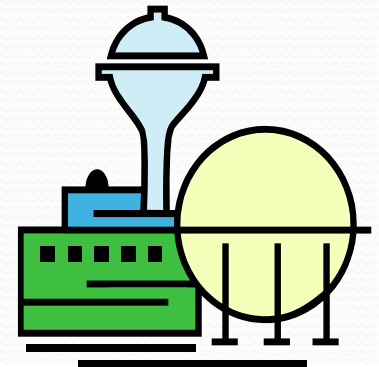
- 市内には4つの浄水場(じょうすいじょう)と3つの配水場(はいすいじょう)があります。
- 浄水場は、地下水をきれいにして飲み水に変える工場です。
- 配水場は、水を送りだす工場です。
- 水道局はこの場所で、安全な水道水を作っています。
- このような水をつくる仕事を毎日ていねいに行い、安全な水をみなさんの家まで送り届けています。

詳しくはここを見てね



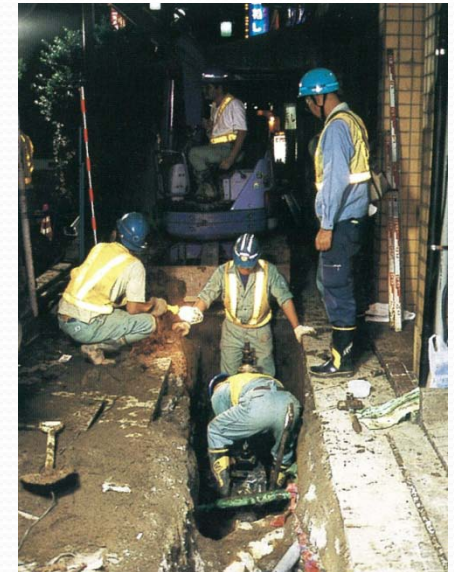
浄水場・配水場 はどこにあるのかな？

浄水場のしくみ ・ 配水場のしくみ_ってどうなっているの？



安全をたもつ

- 水道管が古くなると、壊(こわ)れて水もれしたり、時には破裂(はれつ)や、つまって水が出なくなってしまうことがあります。
- 水道局では、水道管の調査(ちょうさ)をしたり、古くなって壊れた水道管の取りかえ工事を行って、確実(かくじつ)に水が送れるようにしています。
- また、安全な水を使ってもらうために、毎日水道水を検査しています。



水をとどける

- 浄配水場にある配水塔(とう)や配水池から出た水は、水道管を通過してみんなの家まで送られます。
- 水道管は道路の下などに埋(う)められていて、水道を使っている全ての場所につながっています。
- 川口市内に埋まっている水道管をすべてつなげると、約1,227.8km(キロメートル)になります。
- これは川口から兵庫県神戸市(ひょうごけん こうべし)間を往復(おうふく)したのとほぼ同じ距離(きょり)です。

(JR新幹線距離換算調べによる)

